

「島原市の中学校との交流について」

2 3 1 2 1 9

来年、**我が町幸田町**は**町制70周年**を迎えます。幸田町は、町制70周年のために様々な記念事業を準備しており、そのなかの一つとして姉妹都市である長崎県島原市との交流を深めることを計画しています。

長崎県島原市と我が町幸田町は、平成29年10月11日に姉妹都市となりました。幸田町にとっては、初めての姉妹都市となります。

では、なぜ島原市と友好都市提携を結んだのでしょうか。そのきっかけは、江戸時代に遡（さかのぼ）ります。幸田町の深溝には深溝松平家というお殿様がいました。そのお殿様が、幕府の命令により、長崎県の島原藩の藩主（お殿様）として赴任したことに始まります。以降、13人の深溝松平家の当主が藩主（お殿様）として島原を治めました。また、そのお殿様が亡くなると、深溝の地にある本光寺に御遺骸が運ばれ、埋葬されました。その都度、島原から深溝へ関係者が訪れるとともに、参勤交代の途中で藩主が先祖の墓参りに立寄るなど、人々の交流も盛んであったようです。

このようなつながりが、ある幸田町と島原市は、お殿様つながりでこれからも友好的な関係を続けていきたいと思います。と姉妹都市になったそうです。

このような島原市との友好関係を深める一環として、島原市の中学校との交流の計画が立ち上がり、進められています。その第一段階として、本日6限、委員会の時間に、島原市にある5つの中学校のなかの**島原市立第三中学校**と**島原市立三会(みえ)中学校**の生徒会執行部同士でオンラインでの交流を行います。その様子については、後日皆さんにも紹介する予定です。楽しみにしててください。

よろしく申し上げます。

(給食時の生徒会からの放送原稿より)